

令和2年度

# 学 級 要 覧

墨田区立第二寺島小学校

くすのき学級

〒131-0032 東京都墨田区東向島4-30-2

TEL(学校) 03-3614-0105~6

(学級) 03-3614-3465

FAX 03-3614-0320

## I 学級の概要

1. 学校名 墨田区立第二寺島小学校
2. 学級名 くすのき学級(知的障害・固定学級)
3. 沿革概要 昭和28年5月1日 くすのき学級 開設
4. 学級運営組織 学校長:中村 奈緒美  
副校長:安藤 良介  
担任:中島 啓太/竹澤 裕士/井手 令奈/木暮 洋太  
講師:石井 泉(図工)/辻川 愛美(音楽)  
介助員:金澤 恵美子/清野 文子/古橋 克子/橋爪 文香

### 5. 学級編成

学年	児童数			組	担任	講師・介助
	男子	女子	合計			
1年	1	1	2	1組 男子 5名 女子 1名 合計 6名	井手 令奈 木暮 洋太	〈講師〉 石井 泉 (週4時間) 辻川 愛美 (週2時間)
2年	4	0	4			
3年	2	2	4	2組 男子 2名 女子 2名 合計 4名	中島 啓太	
4年	0	0	0			
5年	3	0	3	3組 男子 7名 女子 0名 合計 7名	竹澤 裕士	〈介助員〉 金澤 恵美子 清野 文子 古橋 克子 橋爪 文香
6年	4	0	4			
合計	14	3	17	3学級	4担任	

令和2年4月現在

## II 教育目標

### 1. 学校の教育目標

- 思いやりがあり 助け合う子
- よく考え 工夫する子
- 体力のある 元気な子
- ねばり強く やりぬく子

### 2. くすのき学級の目標

「チャレンジ！」

### 3. 目標達成のための方策

- ・ 友達と仲良く協力しながら、何事にも臆せず様々な事に挑戦していく児童の姿を目指し、個の実態におけるニーズに応じた支援、指導を行う。
- ・ 児童の頑張りや長所を認め、自己肯定感や自信をもたせることにより、新たな学習や活動に対して積極的に取り組めるよう援助していく。

### Ⅲ 時間割表

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導 特別活動	日常生活の指導	体育	日常生活の指導	日常生活の指導
		体育	日常生活の指導	国語	図工
2	国語	音楽	国語	算数	国語
					図工
3	体育	国語(図書)	音楽	生活	図工
				総合	日常生活の指導
4	算数	道徳	生活科	生活	図工
			理科	家庭科	国語
給食／昼休み／清掃					
5	生活	算数	国語	体育	算数
6	総合	国語		生活 クラブ・委員会	国語/生活
		社会			

◎1年生は、毎日5時間授業

◎2年生は、火、3年生は、火金が6時間授業

◎4年生は、月火木金が6時間授業

☆5年生・6年生は、上記の全ての時間割通りの授業

☆3～6年生は、外国語・外国語活動で交流学年に行くことがあります

☆クラブ活動・委員会活動は、基本的に月に一度行われます

☆クラブ活動・委員会活動がない木曜日は通常の6時間授業となります。

☆清掃の時間は、水曜日と短縮授業の日はありません。

#### IV 授業の形態と内容予定

授業名	形態	授業数	内容
日常生活の指導	一斉クラスごと	2～3	着替え、授業の準備、排泄など朝の会で・・・健康観察、今日の予定を知る、昨日の出来事の発表、持ち物調べ、読み聞かせ、体力作りなど。
国語	児童の実態に応じて小グループに分け決め細かな指導を行う。	7	聞くこと、話すこと、さらに読み・書きとあらゆる手段で(動作の含め)他とのコミュニケーションがとれるよう指導していく。また、学年に応じて、語彙を増やすような学習を進める。 領域によって(読み書き)能力別学習を実施する。
算数		4	基礎基本を大切にしながら、日常生活に必要な数量概念や時刻や時間が理解できるように指導する。 領域によって(A数と計算)能力別学習を実施する。
生活科	低学年	1	具体的な活動や体験を通して、人や社会、自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考える。
社会	3年生以上	1	地理を題材に身近なことを調べていく。(身近な地域・区内・都道府県)
理科	3年生以上	1	実験・観察を中心に身近な事象を取り上げて学習する。
体育	低・高学年別	3	健康で丈夫な体を作るために必要な運動を継続して行う。また、低学年、高学年それぞれに応じた学習を行う。 いろいろな運動を通して友達との関わり方やルールを知る。 ローラースケート、グラウンドホッケーなど。
音楽	一斉→ 低・高学年別	2	音楽に合わせて体を動かしたり、歌ったり、ゲームをしたりして、音楽の楽しさを味わう。鍵盤ハーモニカやリコーダー、打楽器などを演奏する。
図工	一斉→ 低・高学年別	2	絵画や工作に取り組み、物を作ったり描いたりする楽しさを味わうとともに、はさみやのりの使い方になれる。
外国語活動	5・6年生 実態に応じて交流クラス	年間 35時間	外国語に親しみ、ゲームに参加したり、外国語を使って、簡単なコミュニケーションを図ったりする。
生活	一斉 クラスごと	2～3	各行事に向けて準備、練習、校外学習や調理実習を行う。 畑に苗を植えて育てて収穫する。
特別活動	一斉	1	お楽しみ会等の行事に関する準備を行う。
総合的な学習の時間	3年生以上	1	ひとつの課題を通して様々な力をつける。パソコン学習。自ら調べる課題を探し、進んでインターネットを活用する学習。タブレットの持ち帰り学習にも取り組む。
道徳	クラスごと	1	ゲームやソーシャルスキルトレーニングなどを通して、人とのよりよい接し方や友達を大切にすることを育む。

## V 交流学習について

### 1. ねらい

- ・通常学級の児童との交流により、ふれあう楽しさや人とのかかわりを学ぶ。
- ・より大きな集団の中で、集団の決まりや行動の仕方を学び、社会性を高める。
- ・通常学級児が特別支援を要する児童とふれあうことにより、正しい理解をもち、よりよい関係作りをする。

### 2. 交流の機会と方針

#### ①日常からの交流

- ・普段から接する機会を多く設定し、交流学級にとらわれず行う。休み時間などの遊びなど。

#### ②行事における交流

- ・運動会、校外学習、社会科見学、プラネタリウム、学年PTA、など。
- ・朝会、児童集会は通常学級に入って並ぶ。(順は児童の実態による)

#### ③縦割り班活動・フレンドリータイム・お別れ給食会

#### ④授業や給食・清掃などでの交流

- ・個別の課題や実態から必要に応じて、授業(算数・理科)や給食などの場を選んでおこなう。
- ・音楽や家庭科など専科授業の交流の機会を設け、協働意識をもつ。

※④は該当学年、学級との交流が基本だが、交流の内容・方法は当てはまらない場合もある。

### 3. これまでの主な交流と共同学習

全学年：プラネタリウム・運動会・校外学習・社会科見学(3～6年生)・児童集会・児童朝会・交流給食  
交通安全教室・一年生を迎える会・六年生を送る会・教科学習(児童の実態に応じて)・演劇教室・マラソン大会・ミニコンサート・学年PTA行事

1年：入学式・学校探検      2年：学校探検・学校周辺探検

3年：スーパーマーケット見学・昔のくらし体験      4年：出前授業・2分の1成人式

5年：オーケストラ鑑賞教室・卒業関連行事

6年：こころの劇場・オーケストラ鑑賞教室・卒業関連行事

※年度により、墨田特別支援学校の児童との副籍交流を行う場合がある。